

平成 28 年度 入 学 者 選 抜
【特別選抜（推薦入学）】（看護学科）

試 験 問 題

小 論 文

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は 7 枚です。指示があってから確認してください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
- 4 問題紙は持って帰ってください。

平成28年度入学者選抜（推薦入学）

（看護学科）

問題訂正

受験生に対して、問題訂正があることを口頭で伝え、
下枠の内容を黒板に書いてください。

※訂正内容は、読み上げないでください。

問題訂正

小論文 問題2

7ページ 図3

(誤) 「訪問看護体勢が整っていない」

(正) 「訪問看護体制が整っていない」

問題1 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(佐藤允一著『問題構造学入門 知恵の方法を考える』(ダイヤモンド社・1984年)の
16頁～22頁を引用し、その一部を改変して作成)

- 問1 著者が主張する知識と知恵の相違について、260字～300字でまとめなさい。
- 問2 あなたがこれまでに経験したことのある解決困難だった出来事とそれへの対処を振り返り、その課題をどのように解決していけばよかったのか、著者の主張をふまえて、あなたの考えを260字～300字で述べなさい。

問題 2

問 1 図 1 は我が国の死亡場所別に見た死亡数・構成割合の年次推移を、図 2 は終末期の療養場所に関する希望を、図 3 は自宅で最後まで療養することが困難な理由を示したものです。

図 1、図 2、図 3 から読み取れることを 260 字～300 字で述べなさい。

問 2 問 1 をふまえ、終末期^{*}の人が在宅で療養するために必要な支援について、260 字～300 字で述べなさい。(終末期^{*}とは、治る見込みがなく 6 ヶ月以内に死期が迫っている状態をいいます。)

図 1 は厚生労働省の「人口動態統計」第 5 表「死亡場所別に見た死亡数・構成割合の年次推移」を一部改変して作成しています。

図 2 と図 3 は厚生労働省の「終末期医療に関する意識調査等検討会報告書」を一部改変して作成しています。

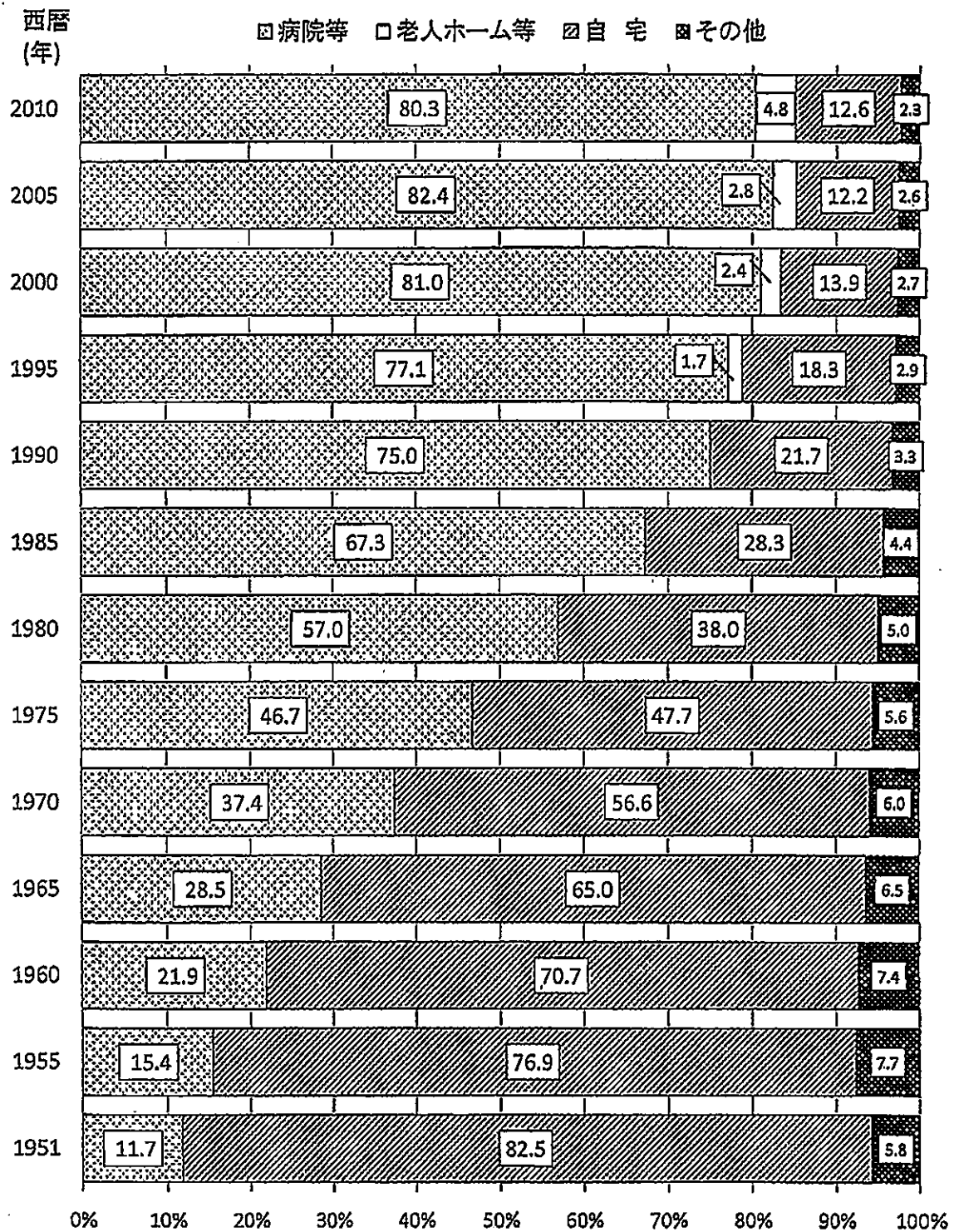


図1 死亡場所別に見た死亡数・構成割合の年次推移

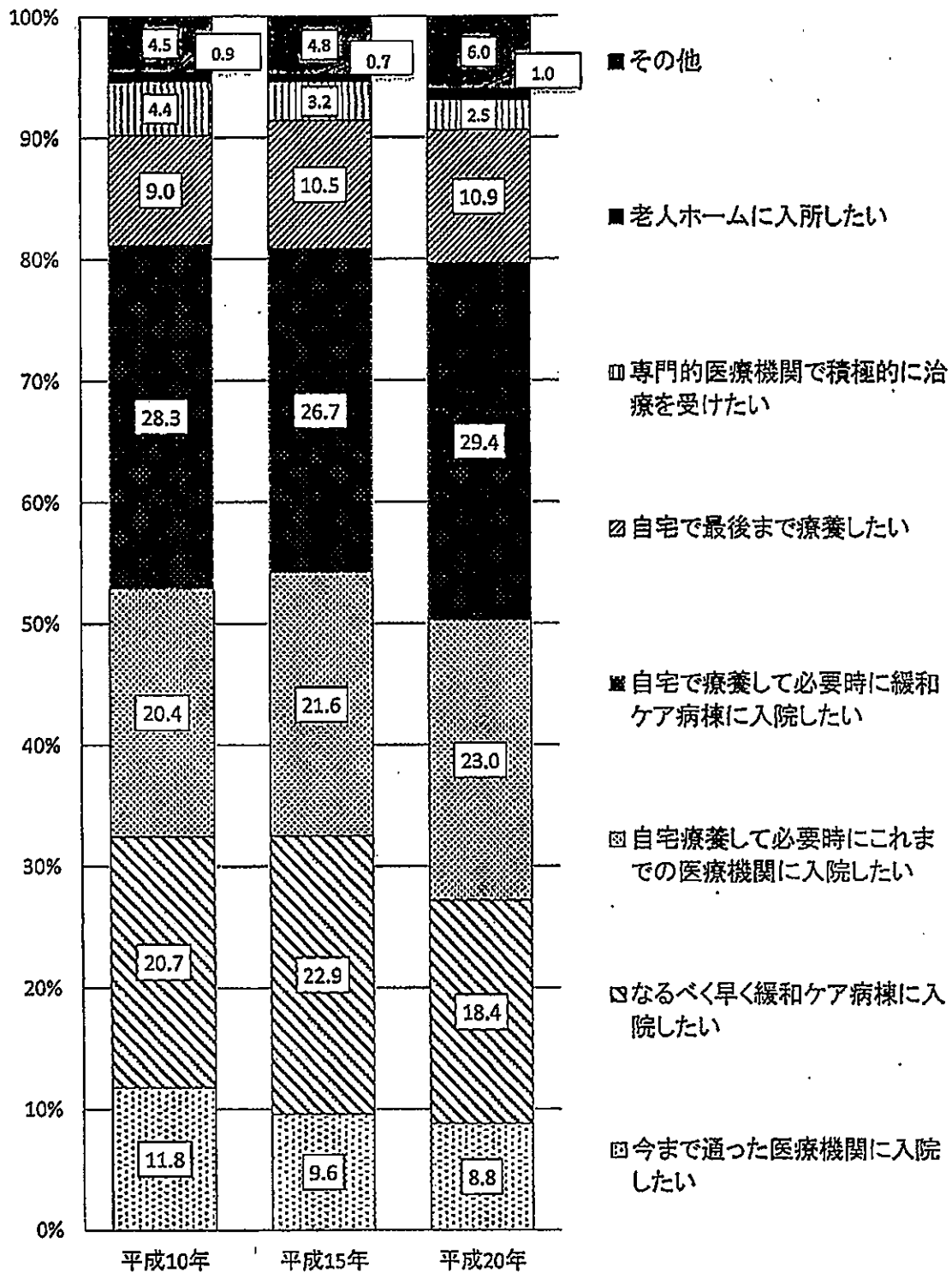


図2 終末期の療養場所に関する希望

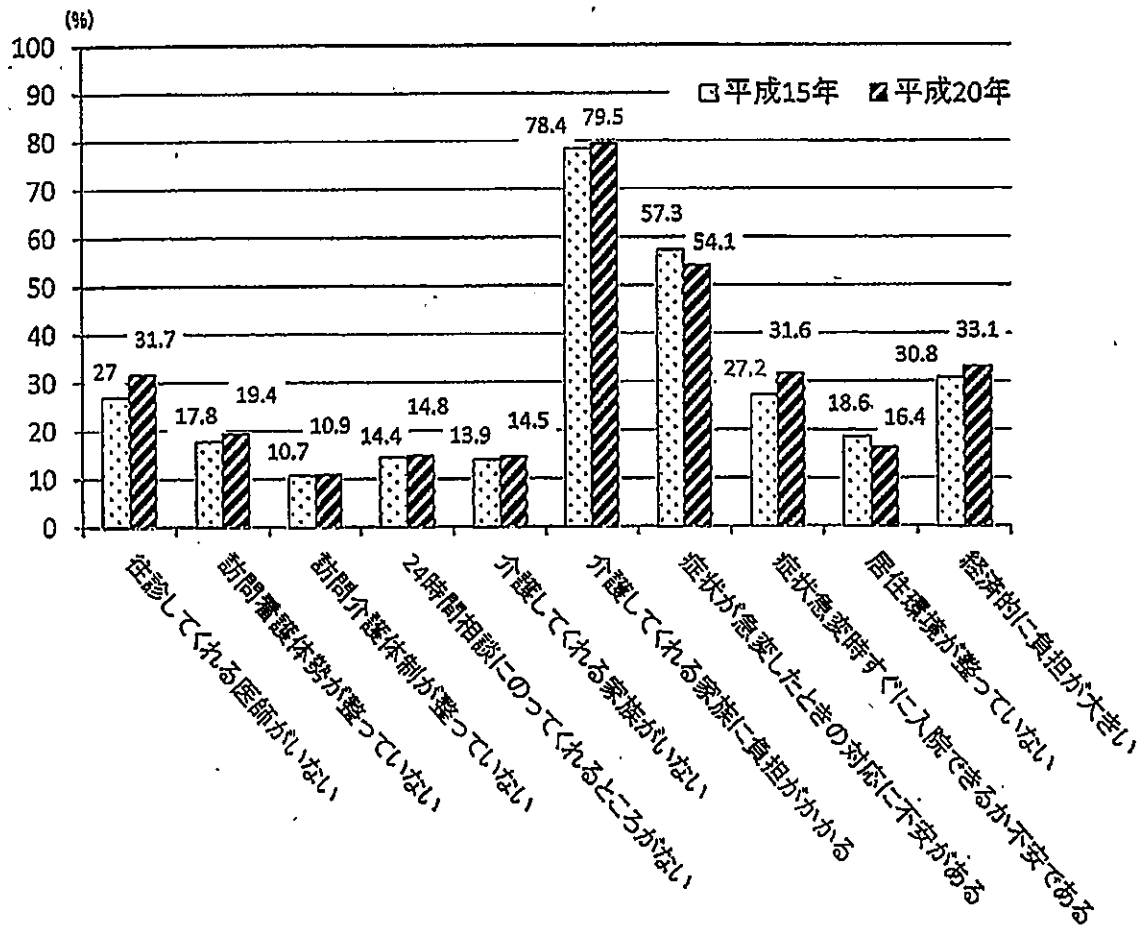


図3 自宅で最後まで療養することが困難な理由(複数回答)